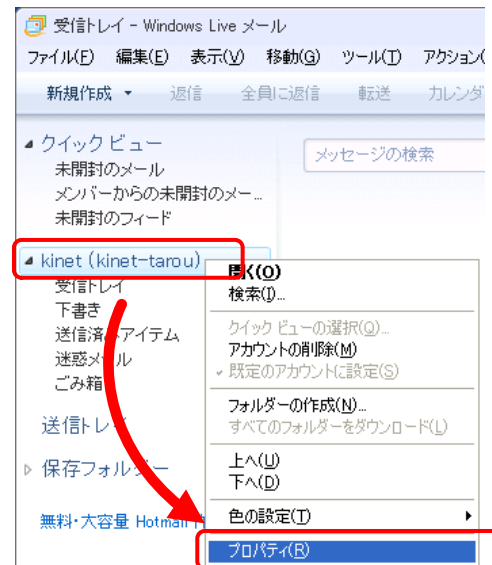


Windows Live メール 2009での暗号化設定

ここではお客様のパソコンとサーバー間を暗号化し、通信する設定方法を案内します。
すでにご利用のお客様で暗号化の設定をご希望の場合は、以下の手順に従い設定変更を行ってください。

1.

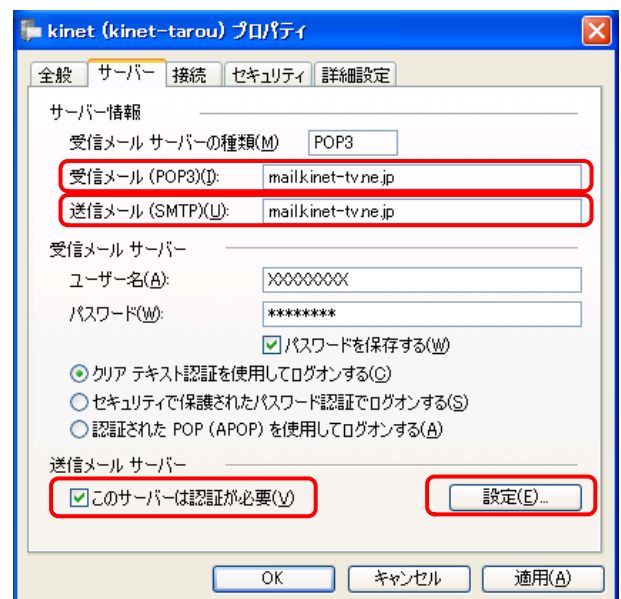
「Windows Live メール 2009」を起動します。
暗号化したいアカウント(ここでは「kinet(kinet-tarou)」)を
右クリックし、【プロパティ(R)】を選択します。



2.

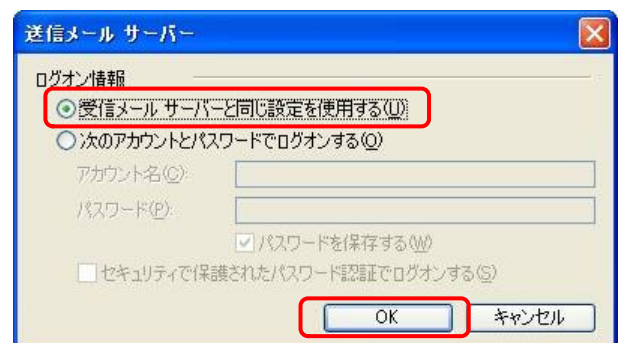
『プロパティ』が表示されます。
【サーバー】タブをクリックし、
【受信メール(POP3)】および【送信メール(SMTP)】の記述を
【mail.kinet-tv.ne.jp】に変更したのち、
『送信メールサーバー』の【このサーバーは認証が必要(V)】
にチェックを入れ、【設定(E)】をクリックします。

受信メール(POP3)(I)	mail.kinet-tv.ne.jp
送信メール(SMTP)(U)	mail.kinet-tv.ne.jp
このサーバーには認証が必要(V)	チェックする



3.

『送信メールサーバー』が表示されます。
【受信メールサーバーと同じ設定を使用する(U)】を選択し、
【OK】をクリックします。



4.

『プロパティ』に戻ります。

【詳細設定】タブをクリックし、以下の項目を設定します。

ポート番号を変更する前に「このサーバーはセキュリティで保護された接続が必要」にチェックを入れて下さい。

送信メール(SMTP)(O)	465
このサーバーはセキュリティで保護された接続(SSL)が必要(Q)	チェックする
受信メール(POP3)(T)	995
このサーバーはセキュリティで保護された接続(SSL)が必要(C)	チェックする
サーバーにメッセージのコピーを置く(L)	チェックしない

設定後、「OK」をクリックします。



【OK】をクリックする前に正しいポート番号が入力されているか確認してください。

以上で、「Windows Live メール 2009での暗号化設定」は終了です。

